

「立命館大学実践教育学会 第6回研究大会」

を開催しました

テーマ：「令和の日本型学校教育」の具体化に向けて
－個別最適な学び・協働的な学びを教科教育の立場から捉える－

日時：2022年10月23日（日）10：30～16：00 開催形態：Zoomによるオンライン開催

<第1部> 10：30～12：00 実践報告会

「デザイン科におけるICTを活用した授業づくり」

「安心感を育む道德教育」

<第2部> 13：00～14：30 講演会

「『個別最適な学び』をどう捉えるか－『主体的・対話的で深い学び』の実現へー」

<第3部> 14：40～16：00 シンポジウム

「令和の日本型学校教育の具体化」－教科において具体化を図る－

2022年10月23日（日）に、立命館大学実践教育学会第6回研究大会が行われました。昨年に引き続き今回もZOOMによるオンラインでの開催となりましたが、遠方の方も含め多数の方にご参加いただきました。ご参加いただいた皆様ありがとうございました。

第1部「実践報告会」

第1部は「実践報告会」として、本研究科修了生のお二人が教職大学院での学びを教育現場に活かした実践を報告されました。林田あかり先生（愛知県立宮起工科高等学校教諭）は「デザイン科におけるICTを活用した授業づくり」を、カ久聖也先生（鳥取県青翔開智中学校・高等学校教諭）は「安心感を育む道德教育」を報告され、まさに教職大学院での理論と教育現場での実践が往還したものでした。

第2部「講演会」

第2部の「講演会」では、石井英真氏（京都大学大学院教育学研究科准教授）に「個別最適な学びをどう捉えるか-主体的・対話的で深い学びの実現へ」というテーマでご講演いただきました。GIGA スクール構想の先の未来の教育について、まるで1冊の本を読み終えたかのような充実した講演でした。

第3部「シンポジウム」

第3部は、「シンポジウム」として、「令和の日本型学校教育の具体化」というテーマのもと、中西仁氏（立命館大学産業社会学部教授）、岡本尚子氏（立命館大学産業社会学部准教授）、春木憂氏（立命館大学産業社会学部准教授）をお迎えしました。実践教育学会ならではの研究者として、そして教育実践者としての議論が交わされました。参加者から多くの発言があり、質問や意見も活発に交わされました。より良い教育を考える機会となりました。

参加者アンケートには「それぞれの教科からの実用的な話がシンポジウムでなされたことで大切にすべき点がより明確になった」「令和の日本型学校教育についての自らの考え方を大きく変化させることができました」など感銘を受けた旨、アンケートの声が寄せられていました。

皆様のご意見を受け、来年度も興味深いテーマを企画し、多くの皆様の参加を期待しております。

以上